参考資料２

技術提案書様式

|  |
| --- |
| **（様式第１-ア-①号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （1）基礎的技術力　　ア　組織の資格・実績①入札参加者保有資格等 | 提案項目 |
| （1）－ア－① |
| ／ |
| Ⅰ．入札参加者が組織として取得し保有している資格等の内容（資格等の名称、資格等の番号、取得年月日、有効期限など）を記載すること。特に「評価の視点」に係る資格について明示を求める。入札参加者がJVの場合は構成員毎に記載すること。なお、確認のため資格証等の写しの提出を求める。 |
| 企業名 | 資格等の名称 | 資格等の番号 | 取得年月日 | 有効期限 | 備　考 |
|
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |

|  |
| --- |
| **（様式第1-ア-②号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （1）基礎的技術力ア　組織の資格・実績②入札参加者受託実績 | 提案項目 |
| （1）－ア－② |
| ／ |
| Ⅰ．標準活性汚泥法と同等以上の方法(OD方式を除く。)での平成20年4月1日以降における受託実績（令和5年3月末完了見込みを含む）を性能発注(包括的民間委託)と仕様発注に分けて記載すること。入札参加者がJVの場合は構成員毎に記載すること。なお、確認のため受託実績が確認できる契約書等の写しの提出を求める。 |
| 企業名 | 業務委託名(仕様発注・性能発注別) | 発注機関名 | 業務委託期間 | 受注形態(単体/共同) | 処理場名 | 水処理施設処理方式・規模 | 備　考 |
|
|
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |
| 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 | 　 |

注）水処理施設の処理方式・規模の記入例・・・処理方式：標準活性汚泥法　　規模：○○,○○○m3／日（日最大）

|  |
| --- |
| **（様式第1-イ-③号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （1）基礎的技術力イ　配置技術者の資格・実績③配置技術者保有資格 | 提案項目 |
| （1）－イ－③ |
| ／ |
| Ⅰ．配置する総括責任者1名、副総括責任者2名（予備候補者除く）の各々が有している資格のうち、「評価の視点」に挙げる下水処理場の維持管理に関する資格①及び②に該当するものについて、その内容（資格名、資格番号、取得年月日、有効期限など）を記載すること。上記資格が確認できる資料(経歴書、資格証等の写し)を添付すること。 |
| 担当者 | （ふりがな）氏名 |  | 所属企業名 |  | 本業務における従事役職 | 総括責任者　・　副総括責任者 |
| ①政令第1号から第6号までで定める資格の取得確認 | ②政令第7号又は第8号で定める資格 |
| 最終学歴に係る情報【必須】 | 年 | 月 | 学　歴 | 政令第7号、第8号に係る取得資格 | 資格名 | 資格番号 | 取得年月日 | 有効期限 |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 下水道の維持管理に関する実務経験年数【必須】 | 　　　　　　　　年　（詳細は様式第1-イ-b号に示すこと。） |  |  |  |  |
| 政令第6号に該当する事項 |  | ※政令…下水道法施行令第15条の3（公共下水道又は流域下水道の維持管理を行う者の資格） |

|  |
| --- |
| **（様式第1-イ-④号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （1）基礎的技術力イ　配置技術者の資格・実績④配置技術者従事実績 | 提案項目 |
| （1）－イ－④ |
| ／ |
| Ⅰ．配置する総括責任者1名、副総括責任者2名以上の従事実績(従事浄化センター名、従事期間、従事職種)について、平成20年4月1日以降に受託し完了した実績（令和5年3月末完了見込みを含む）を性能発注(包括的民間委託)と仕様発注に分けて記載すること。なお、確認のため従事実績が確認できる資料の写しの提出を求める。 |
| 担当者 | （ふりがな）氏名 |  | 所属企業名 |  | 本業務における従事役職 | 総括責任者　・　副総括責任者 |
| 従事実績 | 業務委託名 | 発注機関 | 発注区分（性能・仕様） | 従事した役職又は職種 | 従事期間 | 所属企業名 | 対象施設情報 | 備　考 |
| 処理場名 | 水処理方式・規模 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |

注1）従事期間の記入例・・・H○○.□□.□□～H△△.□□.□□（○年□箇月）

注2）水処理施設の処理方式・規模の記入例・・・処理方式：標準活性汚泥法　　規模：○○,○○○m3／日（日最大）

|  |
| --- |
| **（様式第２-ア-⑤-Ⅰ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （2）特定テーマ対応技術力ア　水質管理対応⑤放流水質に関する対応 | 提案項目 |
| （2）－ア－⑤ |
| Ⅰ | ／ |
| Ⅰ．法定基準が定められた放流水質の契約基準を遵守するためには、流入から放流までの各処理プロセスにおいて、目標とする管理項目及び管理基準を設定し、これらを適正に管理していく必要がある。このため、『放流水質に関する対応』では、適正な維持管理を行う上で必要と考える自主管理項目及び自主管理基準を記載するとともに、設定した理由について具体的に記載すること。 |
|  |

|  |
| --- |
| **（様式第２-ア-⑤-Ⅱ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （2）特定テーマ対応技術力ア　水質管理対応⑤放流水質に関する対応 | 提案項目 |
| （2）－ア－⑤ |
| Ⅱ | ／ |
| Ⅱ．処理プロセス上の自主管理項目について、自主管理基準に対して異常を示した場合の対応と原因究明に向けた方針の両方について、提案項目ごとに記載すること。 |
|  |

|  |
| --- |
| **（様式第２-イ-⑥-Ⅰ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （2）特定テーマ対応技術力イ　汚泥管理対応⑥汚泥処理に関する対応 | 提案項目 |
| （2）－イ－⑥ |
| Ⅰ | ／ |
| Ⅰ．汚泥処理の契約基準である脱水ケーキ含水率を遵守し、また、汚泥処理に関する各種目標値を目指した安定処理を継続するためには、各処理プロセスにおいて、目標とする管理項目及び管理基準を設定し、これらを適正に管理していく必要がある。脱水ケーキ含水率を遵守し、汚泥処理に関する各種目標値を目指した安定処理を継続するために必要と考える自主管理項目及び自主管理基準を記載するとともに自主管理項目として設定した理由について具体的に記載すること。 |
|  |

|  |
| --- |
| **（様式第２-イ-⑥-Ⅱ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （2）特定テーマ対応技術力イ　汚泥管理対応⑥汚泥処理に関する対応 | 提案項目 |
| （2）－イ－⑥ |
| Ⅱ | ／ |
| Ⅱ．処理プロセス上の自主管理項目及び自主管理基準に対して、異常を示した場合の対応と原因究明に向けた方針の両方について、提案項目ごとに記載すること。 |
|  |

|  |
| --- |
| **（様式第２-ウ-⑦-Ⅰ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （2）特定テーマ対応技術力ウ　地域生活環境対応⑦周辺環境等の保全に関する対応 | 提案項目 |
| （2）－ウ－⑦ |
| Ⅰ | ／ |
| Ⅰ．当該浄化センターがもたらす地域生活環境に対する影響の内、周辺住民の関心が高い周辺環境の保全等に対して、自らの行った業務に対しての説明責任を果たす必要がある。 　臭気等周辺環境を保全するための対策について具体的に記載すること。また、放流先の近隣には桜の名所である背割堤および周辺を見渡すことのできる展望塔があり、周辺住民の目に触れることが多いことも踏まえ、放流先周辺の景観対策について具体的に記載すること。 |
|  |

|  |
| --- |
| **（様式第２-ウ-⑦-Ⅱ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （2）特定テーマ対応技術力ウ　地域生活環境対応⑦周辺環境等の保全に関する対応 | 提案項目 |
| （2）－ウ－⑦ |
| Ⅱ | ／ |
| Ⅱ．周辺住民等からの苦情対応・手順について具体的に記載すること。 |
|  |

|  |
| --- |
| **（様式第２-エ-⑧-Ⅰ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （2）特定テーマ対応技術力　　エ　省エネ・温室効果ガス削減対応　　　⑧省エネ・温室効果ガス削減に関する対応 | 提案項目 |
| （2）－エ－⑧ |
| Ⅰ | ／ |
| Ⅰ．京都府流域下水道では、地球温暖化対策を計画的に実施していくために温室効果ガス削減対策の推進を図っているところである。当該浄化センターにおける開示資料に基づき、施設運転上の創意工夫等によるエネルギー由来の温室効果ガス削減対策（＝省エネ対策）の方法と効果について具体的に記載すること。※※本委託期間において、既存の消化ガス発電施設は使用できないものとする。 |
|  |

|  |
| --- |
| **（様式第２-エ-⑧-Ⅱ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （2）特定テーマ対応技術力エ　省エネ・温室効果ガス削減対応⑧省エネ・温室効果ガス削減に関する対応 | 提案項目 |
| （2）－エ－⑧ |
| Ⅱ | ／ |
| Ⅱ．当該浄化センターにおいて、本委託の中で実施可能な「更に省エネ効果及び温室効果ガス削減効果が期待できる具体的な提案」があればその方法と効果について記載すること。 |
|  |

|  |
| --- |
| **（様式第２-オ-⑨-Ⅰ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （2）特定テーマ対応技術力オ　保守・管理対応⑨保守・管理に関する対応 | 提案項目 |
| （2）－オ－⑨ |
| Ⅰ | ／ |
| Ⅰ．施設・設備を適正に維持するための保守点検は、運転管理及び調査との相互補完をなす重要な業務であり、予防保全の考え方に基づき実施する必要がある。対象設備（機械・電気）について、特に事業者自らが実施する点検（メーカー点検を除く）の重要性が高い設備をその理由とともに小分類単位で最大4点まで示し、それぞれについて点検の具体的な方法を記載すること。 　※1 電気設備には「計装」を含むものとする。 　※2 小分類とは、「下水道施設の改築について（平成28.4.1国水下事第109号下水道事業課長通知）別表」における小分類を指す。 |
|  |

|  |
| --- |
| **（様式第２-オ-⑨-Ⅱ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （2）特定テーマ対応技術力オ　保守・管理対応⑨保守・管理に関する対応 | 提案項目 |
| （2）－オ－⑨ |
| Ⅱ | ／ |
| Ⅱ．予防保全型維持管理には、処理場・ポンプ場等における設備、機器等の性能及び機能を確保し、耐久性を維持するために、必要となる保守点検を適正に行うこと、点検結果や修繕履歴を蓄積し活用すること及び施設・設備の不具合を速やかに察知し常に良好な状態に保つよう、速やかに修繕を実施することが有効な方法である。①予防保全的な視点による点検方法、②点検結果や修繕履歴の有効な活用方法、③不具合の発見時の連絡体制について具体的に記載すること。 |
| 　 |

|  |
| --- |
| **（様式第３-ア-⑩-Ⅰ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （3）組織におけるマネジメントア　水質リスクに関するマネジメント⑩放流水質基準に対するマネジメント | 提案項目 |
| （3）－ア－⑩ |
| Ⅰ | ／ |
| Ⅰ．放流水質基準を遵守するために想定されるリスクの特定及びリスクの低減について優先度の考え方を含めて具体的に記載すること。 |
| 　 |

|  |
| --- |
| **（様式第３-ア-⑩-Ⅱ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （3）組織におけるマネジメントア　水質リスクに関するマネジメント⑩放流水質基準に対するマネジメント | 提案項目 |
| （3）－ア－⑩ |
| Ⅱ | ／ |
| Ⅱ．放流水質基準の超過に対する基本的な対応を具体的に記載すること。 |
| 　 |

|  |
| --- |
| **（様式第３-イ-⑪-Ⅰ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （3）組織におけるマネジメントイ　クライシスに関するマネジメント⑪自然災害等に対する危機マネジメント | 提案項目 |
| （3）－イ－⑪ |
| Ⅰ | ／ |
| Ⅰ．洪水、地震等の自然災害や感染症に対する危機管理体制の確保に係る3項目（組織体制、情報収集・共有方法、教育訓練計画）の全てについて、実施方針を具体的に記載すること。 |
| 　 |

|  |
| --- |
| **（様式第３-イ-⑪-Ⅱ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （3）組織におけるマネジメントイ　クライシスに関するマネジメント⑪自然災害等に対する危機マネジメント | 提案項目 |
| （3）－イ－⑪ |
| Ⅱ | ／ |
| Ⅱ．数日間で復旧可能なレベルの洪水被害を想定し、最低限の機能を確保し、業務を継続するための対応方針について、具体的に記載すること。 |
| 　 |

|  |
| --- |
| **（様式第３-イ-⑪-Ⅲ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （3）組織におけるマネジメントイ　クライシスに関するマネジメント⑪自然災害等に対する危機マネジメント | 提案項目 |
| （3）－イ－⑪ |
| Ⅲ | ／ |
| Ⅲ．数日間で復旧可能なレベルの地震被害を想定し、最低限の機能を確保し、業務を継続するための対応方針について、具体的に記載すること。 |
| 　 |

|  |
| --- |
| **（様式第３-イ-⑫-Ⅰ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （3）組織におけるマネジメントイ　クライシスに関するマネジメント⑫流入超過に対するリスクマネジメント | 提案項目 |
| （3）－イ－⑫ |
| Ⅰ | ／ |
| Ⅰ．当該浄化センターの特徴として、降雨時の不明水による流入量への影響が著しい（概ね累計雨量1mmあたり日量約900m3増加）ことに加え、近年集中豪雨の発生頻度が増している状況にある。大雨時の異常流入水量への対応について、体制強化も含め具体的に記載すること。 |
| 　 |

|  |
| --- |
| **（様式第４-ア-⑬-Ⅰ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （4）地域貢献ア　地域貢献⑬地域貢献 | 提案項目 |
| （4）－ア－⑬ |
| Ⅰ | ／ |
| Ⅰ．府の公契約大綱の基本方針に“地域における雇用及び地域経済に与える効果への配慮”、“事業活動における社会貢献の促進”がある。このため、受託した場合における、京都府域の経済に与える効果及び京都府社会に対する社会貢献として、①水質試験業務の府内業者への再委託②施設管理業務（施設内・場内清掃等）の府内業者への再委託③小修繕業務（プラント設備を除く）の府内業者への再委託④地元活動への積極的参加について具体的な内容を記載すること。※ 府内業者への再委託は、直接雇用を含む。 |
|
|
|
|
| ①水質試験業務の府内業者への再委託　水質試験業務の府内業者に再委託する業務について、下表に記載。（府外の場合は記載不要）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 業務内容 | 再委託業者名 | 住　所※府内住所を記載 |
| 水質試験 |  |  |  |
| 〃 |  |  |  |

②施設管理業務（施設内・場内清掃等）の府内業者への再委託　施設管理業務の府内業者に再委託する業務について、下表に記載。（府外の場合は記載不要）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 業務内容 | 再委託業者名 | 住　所※府内住所を記載 |
| 施設管理 |  |  |  |
| 〃 |  |  |  |

③小修繕業務（プラント設備を除く）の府内業者への再委託　小修繕業務の府内業者に再委託する業務について、下表に記載。（府外の場合は記載不要）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 業務内容 | 再委託業者名 | 住　所※府内住所を記載 |
| 施設管理 |  |  |  |
| 〃 |  |  |  |

④地元活動への積極的参加　（自由書式） |

|  |
| --- |
| **（様式第４-ア-⑬-Ⅱ号）**洛南浄化センター運転管理業務委託に関する技術提案書 |
| （4）地域貢献ア　地域貢献⑬地域貢献 | 提案項目 |
| （4）－ア－⑬ |
| Ⅱ | ／ |
| Ⅱ．下記に示す主な資材等の府内調達の予定について資材毎の調達予定先を具体的に記載すること。【主な資材等】高分子凝集剤、次亜塩素酸ソーダ、活性炭、ポリ鉄、PAC、脱硫剤、冷却水処理剤、Ａ重油、プロパン、水質試験消耗品 |
|
|
|
|

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資材名 | 評価ﾗﾝｸ | 予定使用量(5ヶ年) | 業者別調達量 | 調達先業者名（府内代理店も可） | 住　所※府内調達の場合は府内住所を記載 |
| 高分子凝集剤 | A |  |  |  |  |
|  |  |  |
| 次亜塩素酸ソーダ | A |  |  |  |  |
|  |  |  |
| 活性炭 | B |  |  |  |  |
|  |  |  |
| ポリ鉄 | B |  |  |  |  |
|  |  |  |
| PAC | B |  |  |  |  |
|  |  |  |
| 脱硫剤 | C |  |  |  |  |
|  |  |  |
| 冷却水処理剤 | C |  |  |  |  |
|  |  |  |
| Ａ重油 | C |  |  |  |  |
|  |  |  |
| プロパン | C |  |  |  |  |
|  |  |  |
| 水質試験消耗品 | C |  |  |  |  |
|  |  |  |

※ 府内業者からの調達は、府内に本店、支店等がある代理店から調達するものも含む。なお、緊急を要する場合には、この限りではない。 |